

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	小川 敏行	電 話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3130		事務事業名称	老人福祉総務事業					短縮コード	経常	3130	臨時	3131
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	老人福祉費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		老人福祉法・老人保健法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
老人福祉法・老人保健法に基づき老人保健福祉計画を策定並びに高齢者福祉事業の円滑な運営の推進													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして					
高齢化の進展に伴い益々高齢者福祉事業の要望が増えてくる。						大項目（節）	02	社会福祉					
						中 項 目	04	高齢者福祉					
						小項目（施策）	01	高齢者福祉サービスの充実					
						細 項 目	01	保健福祉サービスの充実					
				実施計画の計画事業	1210	老人保健福祉計画策定事業							
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～ 平成22年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内在住の60歳以上の市民							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 老人保健法第46条の18、老人福祉法第20条の8、介護保険法第117条の規定に基づき平成18年度より平成20年度までの第4次老人保健福祉計画・第3期介護保険事業計画を策定した。 高齢者福祉12事業の適正実施							
	※平成19年度に計画していること： 高齢者福祉12事業の適正実施							
意図 （何を狙っているのか）	高齢者福祉事業を総括的に管理する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	高齢者福祉事業の円滑な運営							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市内在住の60歳以上人口	人	43,117	44,347	44,974	46,911	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	老人保健福祉計画等懇談会	回	5	1	0	0	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	保健福祉サービス等の利用者数	人	4,282	4,410	3,920	4,116	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3130	事務事業名称	老人福祉総務事業			所属名	長寿支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			老人福祉に関わる総括的経費であり現状のシステムを継続する為の経費である。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			継続的事业のため
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
特になし	

所属長コメント	福祉総務事業として、高齢者福祉12事業の適性実施するため適正管理をする。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	改革・改善の詳細区分はないが，評価内容から現状維持の方向性と読み取れる。現状のまま推進すべき。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		